

## 第3学年1組 社会科学学習指導案

平成27年11月19日(木)第3時 3年1組教室 指導者 伴 巨裕

### 1. 単元 「みんなの安心をもっと。ずっと。」～社会保障と国民の福祉～(11時間完了)本時10/11

#### (1) 構想

**単元観**…2013年度の社会保障給付が、統計を開始した1950年以降、過去最高を更新した。高齢化や医療技術の高度化に伴うもので、その対応が急務になっている。特に、福祉の分野の中で介護対策の伸び率が5%で最も多かった。増大する社会保障の資金を誰が負担するかなど、財政面での課題がある一方、私たちの社会保障制度が、誰のために作られているかという制度の内容面を考えていく必要がある。これらの問題は多くの生徒にとっては身近なものではないが、近い将来には、納税者として、また主権者として自分自身に直接かかわってくる問題である。特にその点を意識させることによって、財政や社会保障のあり方についての主体的な追究が期待できる。さらに、消費税の引き上げについては賛否両論があり、消費者として自分の考えをもちやすい。

そこで今回、社会的な課題ともいえる現在の日本の社会保障制度のしくみや問題点を明らかにする。これまで高福祉社会のモデルとされていた北欧の社会保障制度が変化してきており、かつての議論そのものが成り立たなくなってきた。少子高齢社会の進展によって現在の福祉水準を維持することすら難しい状況である。現実的には高水準の福祉国家は困難であり、社会全体の負担増と保険制度とを組み合わせることにより、生きていくことへの不安がなく、安心して自分たちの生き方の幅を広げていくことのできる社会を実現することが求められている。そこでこの単元では特に、生徒たちが、①制度を作っていく政府の立場(政府主導の福祉政策) ②保障を受ける立場(国民の3割を占める高齢者) ③介護をする立場(国や地方自治体)、【自助・公助・共助】という多面的な視点をもてるようにしたい。これは、「介護に関わる人々の思い(情意面)」と、「制度のしくみ(内容面)」の両面を扱うことにより福祉の本質に迫る学習になると考える。以上のことから本単元は、対立と合意、効率と公正の視点から多面的・多角的に考察し、その結果を納得と合意に基づき共有することにより、主権者としての自覚を促すのに適した単元であると考えられる。

今回、社会事象を身近に引き寄せるために、学区にある二つの高齢者福祉施設を訪問する。租税教室で税理士から得た情報や、共通土台となる政府広報オンラインから掲載した自作資料『アベノミクスの社会保障と税の一体改革』で社会事象の押さえをする。その上で、グループごとに疑問や課題を出し合い、分からない部分を焦点化していく。そして、制度自体の隠された根本的な課題は何かを問うていく。さらに、個々の意見をまとめたものを学級全体で共有し、追究レポート集をもとにした発表を行う。追究の過程で、社会福祉に関わる人の思いを考えさせるために、介護福祉士に出会わせる。その際、出てきた疑問や感想から、考える視点や立場を明確にして、これからの社会保障制度のあり方を考える学習を進めていきたい。政府の政策を批判的に検討し、問題の解決策について議論し、今後自分たちはどうするべきなのか考え、意志決定する。この経験を積み重ねることで、持続可能な社会を形成する主権者としての生徒たちが、社会参画の感覚を磨くことにつながるものと考えられる。

**生徒観**…本学級は、男子15名、女子15名で構成されている。三世帯同居の生徒数が多い実態もあり、高齢者の存在は比較的に身近である。学区にも3箇所タイプの違う介護福祉施設が存在する。ところが本単元で扱う社会保障の問題は、多くの生徒たちにとって、高齢者になれば誰もが何らかの当事者になる可能性が高いにもかかわらず、普段はそのことがほとんど意識されていないのが現実である。事前の意識調査における「今の日本は豊かであるか」の問いにも、半数以上の生徒が豊かではないと答えているが、理由を聞くと「国の借金が多いから」など社会保障と財政に関する事実認識が乏しく、漠然とした答えしか返ってこない。

**指導観**…単元の導入では、生徒に当事者意識をもたせるために、自分自身のライフプランを設定することから始める。少子高齢化が、先々の社会の不安感をあおっていることに気付くであろう。そして、基本的な知識の習得として、日本の租税制度や社会保障制度のしくみと課題を扱う。様々な社会

保障が、どのような役割を果たしているのかを具体的に知るために、映像資料を用いたり、日本の財政に関してゲストティーチャーを招いたりして話を聞く機会を設定していく。また、ワーキングプア、格差の拡大、医療・財政危機など、日本社会の抱える構造的な問題を紹介し、「今の社会保障制度は、超高齢社会を生き抜く私たちにとって相応しいと言えるだろうか」という単元を貫く学習課題を醸成していく。第 6～9 時で、介護保険制度や自立支援法で「サービス利用者への原則一割負担が決められたことは妥当か」を調べる。その後のまとめを終え、自分の考えを整理し、「高齢者や障害者のサービスをどこまで充実させるか」という課題で第一次のかかわり合いの時間を設ければ、効率と公正のそれぞれを重視する意見の対立に出会うであろう。ここで新たな事実認識から関係認識への移行が生み出されることを期待している。さらにこの時点で、「消費税を上げて、その分を福祉の財源に充てるべきか否か」を取りあげ、生徒の考えに揺さぶりをかける。ここで、福祉施設への調査活動の場を設定し、調べの足場を共有化させる。本時のかかわり合いは、これからの日本の社会保障制度のあり方について考える。板書は、構造化の工夫を図り、色チョークを使って立場を明確にした意見の整理を効果的に図りたい。

## (2) 単元の目標

- ① 財政や租税の役割について主権者として関心をもち、将来にわたる社会保障の課題を意欲的に追究しようとすることができる。 【関心・意欲・態度】
- ② 今後の日本に適した社会福祉制度のあり方について、相互扶助と税の公平性という視点から、調べた事実を根拠として公正に判断して自分の意見を整理し、説明することができる。 【思考・判断】
- ③ 社会保障の現状や財政の問題を、解決するための政策に関する資料を活用して高齢者福祉や財政の問題を調べ、資料を適切に選択・活用することができる。 【技能・表現】
- ④ 少子高齢化が、社会保障関係費の財政支出を増加させていることを理解することができる。 【知識・理解】

## (3) 指導計画【別紙】

### 2. 本時の学習指導

#### (1) 目標

- ① これまでの消費増税に関する調べ学習をもとにして、根拠をはっきり示しながら積極的に話し合いに参加することができる。 【関心・意欲・態度】
- ② 介護福祉や税制に関する話し合いを通して、今後の日本の社会保障と税のあり方に対して多面的にとらえ、自分の考えを再構築することができる。 【思考・判断】

#### (2) 準備

- ① 生徒 学習資料(ワークシート)・追究レポート集・個の考え一覧表・ハロータックス等の資料
- ② 教師 パソコン・ワークシート・資料集・マグネット・座席表・提示用資料

#### (3) 本時における河中 ESD の視点 (未来へつなげる発信力)

本校の研究主題を受けて、本単元では「資料から調べた事実を基にして、課題に対する考えを自分の言葉で意欲的に発表する姿」が大切であるにとらえ、①分かった事実から社会保障の制度についてイメージを具体的に作る。②社会のあり方や社会事象について、自分なりの考えがもて、価値観をもつことができる。の二点に重点を置いて取り組んでいきたい。本時は、単元の後半部分であり、討論テーマ『消費税を引き上げてでも、福祉サービスを維持していくことが本当に必要なのか』について、個人の追究活動を基にして、自分の考えを再構築した後の話し合い活動の場面である。意見を出し合う中で、税の公平性や相互扶助のバランスを図ることが重要であることに気付かせたい。おそらく、意見の中では必要である派の意見が多く出されることが考えられる。そこで、必要でない派の意見の一助となるような手だてとして、政府の一体改革の影の部分指摘し、資料援助する。この話し合いをする中で、法整備と制度改革の必要性にふれたり、役人の仕事に対する国民のチェック機能の強化という視点に着目したりして、問題の解決策について気付くことができるであろう。そして、話し合いの最後に、「自分の判断

の妥当性」を問うことで、改革の必要性について考え、意思決定することで政治参加を促す感覚を磨くことになればと願う。

(4) 展 開

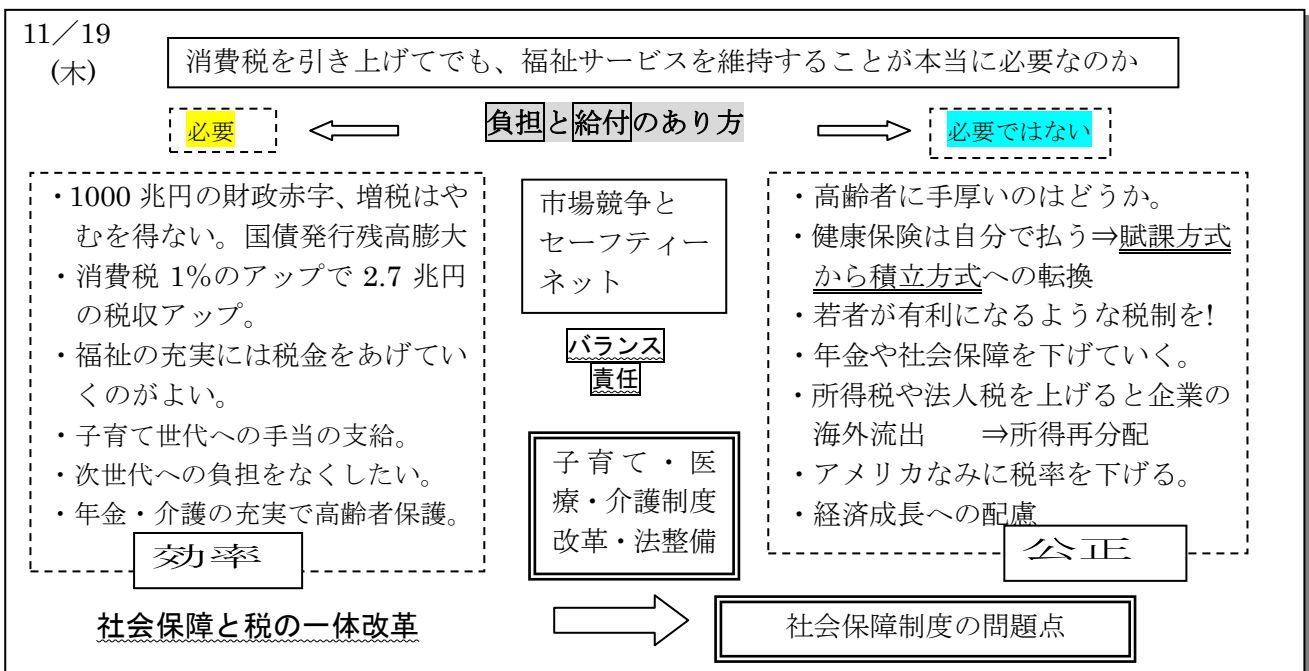
段階	生徒の活動	教師の活動						
指向 (3)	1.学習課題に関する学級内の意見を確認する。 ・友達はどう考えているのかな。 ・増税推進派が多いのはなぜだろう。	・学習課題について、友達の考えを知らせる。 ・『社会保障と税の一体改革』の一部を紹介する。 ・なぜ、そう考えたかを押さえた上で話し合いをすることを伝える。						
問題 (2)	2. 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">消費税を引き上げてでも、福祉サービスを維持することが本当に必要なのか</div> ・今日のテーマがはっきり分かった。 ・深刻な財政状況の中で増税が議論されているんだな。	・学習課題を書いたカードを黒板に貼付する。  ・諸外国の消費税率と課税対象品目の資料を提示する。 ・国家財政が危機的な状況であることを示す。						
追究 1 (10)	3. 学習課題について根拠を明らかにしながらグループで話し合う。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>&lt;必要である&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉の財源を確保するためには増税は仕方ないかも。</li> <li>不足分は、ほかの方法で賄えばよい。</li> <li>福祉税の増税をすれば。</li> <li>出生数減少を改善する政策を出すべきだ</li> <li>高齢者の就業人口を増やしていくこと。</li> </ul> <p>&lt;必要でない&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費税を上げると、消費に悪影響を及ぼし経済が停滞してしまうかもしれない。</li> <li>保険制度を整えて財源を確保する。</li> </ul> </div>	・事前に調べたことを根拠に意見が出せるようにノートを見直すよう伝える。 ・意見のもととなると予想される各国の社会保障制度の特徴が確認できるように配慮する。 ・政府(国)が作る制度面について確認しておく。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【未来へつなぐ発信力①】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経験したこと、聞いたこと、調べたことから得た客観的な根拠をもとにして自分の考えを表出している生徒を称賛する。</li> </ul> </div>						
追究 2 (28)	4.全体場で自分の考えを発表する。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">ア</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(矛盾型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅱ 低福祉・高負担</div> <p>福祉のために税金を使うなら 15%も仕方がない。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(北欧型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅰ 高福祉・高負担</div> <p>高齢者も今まで働いていた人は老後を楽しく過ごす。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B</p> <p>(アメリカ型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅲ 低福祉・低負担</div> <p>財政の安定が先決。今でも生活が苦しい人がいるから。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>(非現実型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅳ 高福祉・低負担</div> <p>誰しもが納得して平等に安心して生活していける社会</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">イ</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">A</p> </td> </tr> </table> <p>※分析概念図【横軸:社会保障・縦軸:国民負担】</p> </div>	<p style="text-align: center;">ア</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(矛盾型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅱ 低福祉・高負担</div> <p>福祉のために税金を使うなら 15%も仕方がない。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(北欧型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅰ 高福祉・高負担</div> <p>高齢者も今まで働いていた人は老後を楽しく過ごす。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B</p> <p>(アメリカ型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅲ 低福祉・低負担</div> <p>財政の安定が先決。今でも生活が苦しい人がいるから。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>(非現実型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅳ 高福祉・低負担</div> <p>誰しもが納得して平等に安心して生活していける社会</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">イ</p>	<p>(矛盾型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅱ 低福祉・高負担</div> <p>福祉のために税金を使うなら 15%も仕方がない。</p>	<p>(北欧型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅰ 高福祉・高負担</div> <p>高齢者も今まで働いていた人は老後を楽しく過ごす。</p>	<p>B</p> <p>(アメリカ型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅲ 低福祉・低負担</div> <p>財政の安定が先決。今でも生活が苦しい人がいるから。</p>	<p>(非現実型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅳ 高福祉・低負担</div> <p>誰しもが納得して平等に安心して生活していける社会</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	・友人の考えを聴き合う中で自分の考えをもてるようにする。 ・消費税率は 8%から 15%への引き上げを想定する。(段階的に移行し、10%は決定事項) ・互いの立場が明確にできるように※分析視点を表した概念図を活用するとともに、意見別に座席を設定する。 ・グループの話し合いの中で、自分はどうか考えたかを発表する。 ・自分の考えが、※分析視点を表した概念図のどこに位置づくかを決め、検討することで、具体的な政策を考えていけるよう指示する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【未来へつなぐ発信力②】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ学習でのよさが活かされるよう、生徒自身の問いかけになっているか配慮し、聴き合い、共感し合うかわり合いとなるよう意図的な関係作りをしていく。</li> </ul> </div> ・討論の過程を可視化する討論用ワークシートに書き込みながら話し合いをするよう指示する。 ・社会保障給付費と社会保険料の関係を表した資料を提示するなど、適宜、資料援助をする。
<p style="text-align: center;">ア</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(矛盾型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅱ 低福祉・高負担</div> <p>福祉のために税金を使うなら 15%も仕方がない。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(北欧型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅰ 高福祉・高負担</div> <p>高齢者も今まで働いていた人は老後を楽しく過ごす。</p> </td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>B</p> <p>(アメリカ型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅲ 低福祉・低負担</div> <p>財政の安定が先決。今でも生活が苦しい人がいるから。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>(非現実型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅳ 高福祉・低負担</div> <p>誰しもが納得して平等に安心して生活していける社会</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">イ</p>	<p>(矛盾型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅱ 低福祉・高負担</div> <p>福祉のために税金を使うなら 15%も仕方がない。</p>	<p>(北欧型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅰ 高福祉・高負担</div> <p>高齢者も今まで働いていた人は老後を楽しく過ごす。</p>	<p>B</p> <p>(アメリカ型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅲ 低福祉・低負担</div> <p>財政の安定が先決。今でも生活が苦しい人がいるから。</p>	<p>(非現実型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅳ 高福祉・低負担</div> <p>誰しもが納得して平等に安心して生活していける社会</p>	<p style="text-align: center;">A</p>			
<p>(矛盾型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅱ 低福祉・高負担</div> <p>福祉のために税金を使うなら 15%も仕方がない。</p>	<p>(北欧型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅰ 高福祉・高負担</div> <p>高齢者も今まで働いていた人は老後を楽しく過ごす。</p>							
<p>B</p> <p>(アメリカ型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅲ 低福祉・低負担</div> <p>財政の安定が先決。今でも生活が苦しい人がいるから。</p>	<p>(非現実型)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Ⅳ 高福祉・低負担</div> <p>誰しもが納得して平等に安心して生活していける社会</p>							

	<p>&lt;具体的な理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費増税で福祉器具、介助品の減税がされるといいね。</li> <li>・軽減税率を導入しているよ。</li> <li>・国会議員の費用を削減したらいい。</li> <li>・次世代への負担を軽減したい。</li> <li>・現在の賦課方式から積立方式にする。</li> <li>・年金や社会保障を段階的に下げていく。</li> <li>・アメリカのように税率を下げる。</li> <li>・制度改革が必要だね。</li> <li>・所得税・法人税の見直しが必要だ。</li> <li>・セーフティーネットを充実させよう。</li> <li>・今の社会にはそぐわない構造があるから、そこを変えていく必要があるね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの日本はどのような社会保障制度のしくみを作っていくべきか高齢者の立場に立った視点で発問をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【未来へつなぐ発信力③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立場討論を通じてどちらかの立場に固執することなく、多面的に考え、どの立場にも言い分があることが理解できるように補説する。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題から内容が反れないように資料や発問など生徒への切り返しに注意して話し合いを進める。</li> <li>・福祉の充実のためには、地域で支え合うことが大切であり、今日の話合いの三つの視点がかかり合っていることを理解できるように配慮する。</li> </ul>
<p>整理 (7)</p>	<p>5.本時で再構築した自分の考えと感想を授業プリントに記入し、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな公共サービスを誰にどう提案していくかが大切だ。</li> <li>・法整備と制度改革が必要だね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの追究内容と今日の話合いを基にして考えを授業プリントに記入するよう指示する。</li> <li>・税の公平性、相互扶助の視点で考えていくことで、社会保障制度の構造的な改革の必要性にふれている生徒を意図的に指名する。</li> </ul>

(5) 評価

- ① 今までの学習での調べをもとに、課題に対して積極的に話し合いに参加できたか。  
(活動3・4の発表の様子から)
- ② 話し合いや調べたことをもとに社会保障制度について多面的にとらえて、自分の考えをまとめることができたか。  
(活動3・4のワークシートの記述内容から)

(5) 板書計画



指導計画 (11 時間完了第 3 次)

能動的な生徒 10 の姿 【手だてとその意図】

自分のライフプランを考えよう。～私たちの将来は大丈夫か?～①

- 自分の将来を予想し、10 年後から老後までを考えてみよう。 10 の姿⑩
- ワーキングプアという現象があるよ。必ずしも日本は豊かじゃないの!?
- 少子高齢化が進行しているね。家族も自分も心配なことがあるよ。

生徒たちの当事者意識を高めるため、自分の将来のライフプランの作成を単元の導入に取れ入れたり、紙上討論新聞記事を取り上げたりして切実感を出し、授業を組み立てる。

手だて②

今の社会保障制度は超高齢社会を生き抜く私たちにとって相應しいと言えるか。②～③

- アベノミクスの『社会保障と税の一体改革』って何だろう。 10 の姿⑨
- 人口推計の予想から社会にどのような問題が生まれているだろう。
- 世界最速で進む少子高齢社会。日本の税制度について知りたいな。
- 現行の制度は、現在の社会に本当に適していると言えるのか調べたいな。

単元を通して現在の社会保障と税の問題点に焦点を当て、現在行われている一体改革とは何に裏づけられて進められているかを取り上

税金はどのように徴収されているのだろうか。④

- 国税・地方税、直接税・間接税、累進課税制度はなぜあるか → 税務署の人の話ける。 手だて①
- 収入だけでなく様々な理由で出費が多い人の負担を軽減するんだ。 10 の姿⑥

日本の社会保障制度はどのように行われているのだろうか。⑤

- 公的扶助、社会保険、社会福祉、公衆衛生がある。 10 の姿⑧
- どのような人が対象だろう。 ↓ ・財源の負担は誰が行っているのだろう。
- 日本と欧米の社会保障制度を比べてみよう。(高福祉高負担・低福祉低負担)
- 少子高齢化が進展すると社会保障費が増大、税収入減少、年少人口の負担増

租税教室を実施し、日本の税制度と財政の現状について基礎知識をもつ。

手だて③

既存の知識では対応できない問題を解決するために調べ学習の時間を設定し、それぞれのテーマで追究できるよう資料支援を充実させる。

手だて④

介護保険制度・後期高齢者医療制度が作られたのはなぜだろう。⑥～⑨

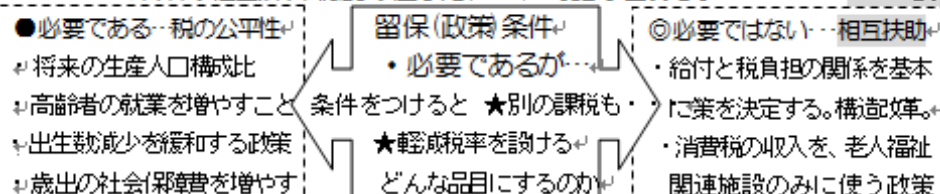
- 介護の現場を見学して福祉士の方に調査をしよう。 10 の姿①
- 高齢者へのサービスをどこまで充実させたらよいのだろう。 → 介護福祉士の話

一人調べ→話し合い→協同学習→学習内容整理

追究のまとめ ⇒ ↓ 追究レポート集作⇒付箋交流 10 の姿③

消費税を引き上げてでも福祉サービスを維持することが本当に必要なのか ⑩ 本時

- 未来の社会保障制度の在り方について話し合おう。 10 の姿③



調べの見直し(個)→再確認(グループ)→話し合い(全体)→振り返り(個) 10 の姿②

II 低福祉・高負担 全ての人が人間の尊厳を得られる社会	ア	I 高福祉・高負担(北欧型) 高齢者は一生懸命働いてきたから老後も	イ
B III 低福祉・低負担(アメリカ型) まず、財政を安定させていくべき	イ	IV 高福祉・低負担 政策に納得した上で暮らせる社会にする	A

第9時で、生徒のワークシートに書かれた調べや考えは、朱記や対話によって助言を行いながら個別の調べが分かる追究レポート集にまとめ、付箋に感想を書き、相互に交流をする。

手だて⑤

論理的な思考を促すために、概念図を活用した内省の場面を設定し、自分の考えが、福祉政策全体の中でどの位置にあるかを客観的に確認できるようにする。

手だて④

追究活動の過程で福祉施設の方に出会わせることにより、生徒たちのとらえる価値観に厚みをもたせ、自分たちの思考にはすみをつけさせるように単元構成の仕方を工夫する。

手だて③

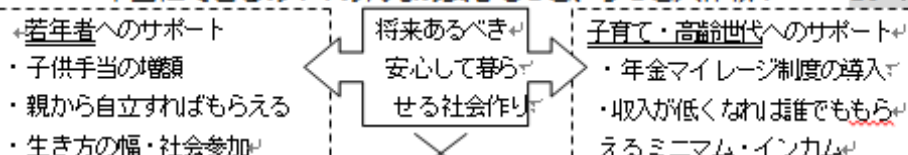
授業のまとめとして、学んだことを振り返り、自分が望むべき社会像を記述する。

手だて⑥

単元での学びが生き方につながる → 社会参画(自己の責任を考える)

よりよい社会にするためにどのような政策を行えばよいだろう。⑪

本当にできるの?! みんなの安心もって、ずっと大作戦! 10 の姿⑦



- 待機老人の問題を何とかしたい。
- 行政サービスだけでなく、一人一人の支え合う思いが大切なんだね。
- 特別養護老人ホームと有料老人ホームのサービスの質の競争と効率化を図る。
- 介護の居宅サービスの価格を自由化し、介護労働力不足を解消する。 10 の姿③

学習の振り返り→『社会保障と国民の福祉』の学習を終えての感想書き

(E) 問題の整理

(E) 問題の本質に迫る

(E) 問題の本質に迫る

(E) 問題の本質に迫る